

Ⅲ 道徳教育推進教師の取組

道徳を進めましょう！

道徳教育推進教師とは…？

各学校においては、道徳教育の目標を踏まえ、道徳教育の全体計画を作成し、**校長の方針の下に、道徳教育推進教師を中心に、全教師が道徳教育を展開する**（学習指導要領解説道徳編）

平成 30、31 年度に向け、推進教師の役割の中で、特に重要と考え、取り組んでいただきたい 4 点を提案します

道徳教育推進教師は、学校全体で進める道徳教育のコーディネーターです。

1 校長先生との話し合い

校長先生と話し合いを持ち、**どのような児童生徒を育てたいのか**、道徳教育の方針を決めます。道徳教育は学校全体で行います。ここからスタートです。

児童生徒の実態

教職員の願い

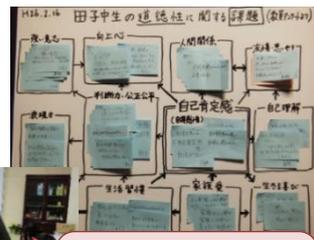
保護者・地域の願い

校長先生との話し合い【方針決定】

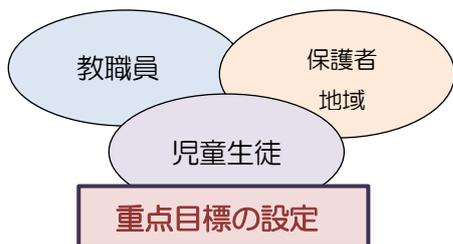
課題の書き出しと
それを基にした話し合い



先生方で児童生徒の良さと課題を話し合い

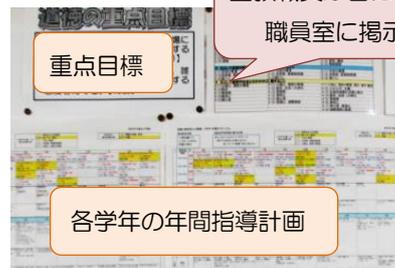


2 重点目標の設定



教職員、保護者や地域、児童生徒の課題や願いを基に、「道徳教育の**重点目標**」を決めます。

多様な道徳教育の中で、道徳の時間もそれ以外の教育活動でも、**重点的に取り組んでいこう**という目標です。



全教職員が目にする職員室に掲示

3 計画の作成と見直し

重点目標を基に**計画を作成**します。計画的に道徳教育を進める道しるべとなります。時期をみて、**計画の見直し**をすることも大切です。常時掲示し、朱書きなどをして来年度に生かしていきましょう。

月	日(曜日)	時	教師	生徒指導	種別	主題	内容	1学年 課時
4				行事予定				
5	21日(水)	4	中野(1)	生徒指導目標	1-1	自己肯定感の向上	自己肯定感の向上に関する授業	
5	27日(水)	5	中野(1)	生徒指導目標	1-2	自己肯定感の向上	自己肯定感の向上に関する授業	
6	3日(水)	6	中野(1)	生徒指導目標	1-3	自己肯定感の向上	自己肯定感の向上に関する授業	
6	10日(水)							
6	16日(水)							
6	24日(水)							

A3 版 1 枚の例
各校で使いやすい形式で作成

年間指導計画の例

① 道徳教育全体計画

② 道徳教育全体計画 **別葉**

③ 道徳の時間 年間指導計画

計画の作成 見直し

道徳教育の実践

別葉 には…

道徳教育と各教科等との関連を考え、いつ、どのような機会に指導するのかを具体的に決めて示します。

別葉 を作成することで、道徳と各教科等との関連性が明確になります。

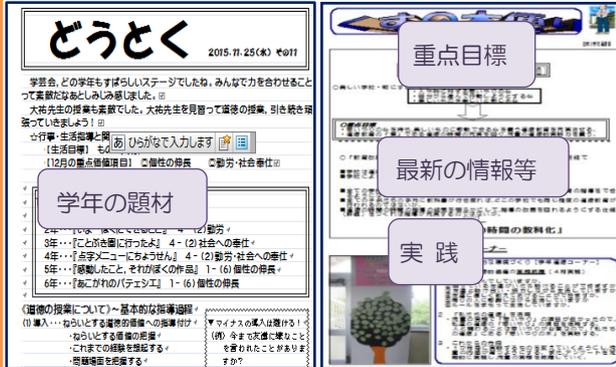
学校の教育活動全体での道徳教育を意識することができます。

4 情報発信 教材整備

道徳教育の情報を発信し、道徳教育に取り組みやすい環境づくりを整えていきましょう。

道徳通信の発行

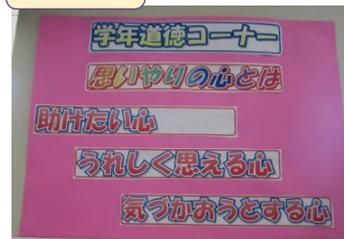
情報を共有することで、道徳への意識を高め、全教職員で取り組むエネルギーになります。推進教師が月1回程度発行しています。



掲示

環境整備の工夫で道徳への意識が高まります。場面絵の掲示、「私たちの道徳」を活用した廊下掲示等で、学びの蓄積を図ります。

廊下掲示



思いやりの木



「私たちの道徳」の活用推進

教材の活用の提案も重要な発信です。



- ・道徳の時間で
- ・朝学習の時間で
- ・時間に余裕ができた時に

道徳コーナーの設置

職員室に設置することで、いつでもだれでも利用可能です。書籍や副読本、教材(心情円盤や場面絵など)を常備しています。



副読本以外の資料はワークシートと共にファイリングします。



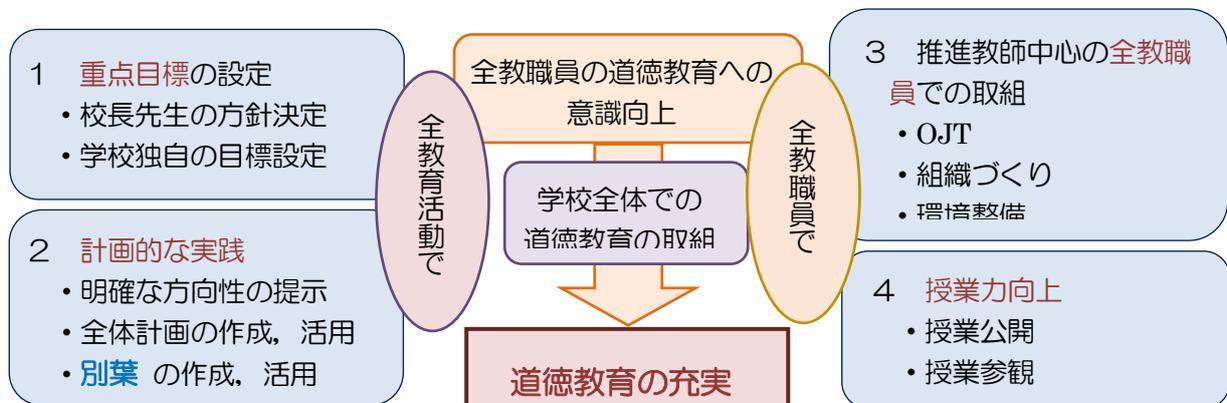
共有フォルダに道徳ファイルを作成しての活用も有効です。

IV 今後各校に求められる取組

さあ、スタートを切りましょう！

道徳教育の充実に向け、各校の実態に合わせ、できるところから一歩ずつ取り組んでいきましょう。

学校の全教育活動で、全教職員での取組が大切です。そのためには、方針をしっかりと決め、明確な方向性を持ち、計画的に道徳教育に取り組むことが求められます。



道徳教育の充実に向け、各校の実態に合わせ、できるところから一歩ずつ取り組んでいきましょう。

学校の全教育活動で、全教職員での取組が大切です。そのためには、方針をしっかりと決め、明確な方向性を持ち、計画的に道徳教育に取り組むことが求められます。